

花きの県別生産出荷概況(1月見通し)

令和元年12月27日現在

出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目	県名	作型	主要品種	出荷期	作付面積 ha	出荷見込み		5月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況
				期間		出荷総数 千本	京浜地域向 千本	上旬	中旬	下旬		
				(ピーク)	(前年比)	(前年比)	(前年比)					
バラ	群馬	施設 (周年)	アヴァランチェ サムライ08 ほか	周年 (5~11月)	12.2 (95%)	528 (100%)	367 (100%)	33	33	33	前橋市 富岡市	気温の低下により換気の頻度が下がったことで、積極的に炭酸ガス施用を行い、品質は良好。また一部産地で燃烧式炭酸ガス施用機が追加導入されたことで、品質が底上げされ上位等級の増加が見込まれる。生産者の減少により面積は微減したが、各農家の生産性は向上しており、1月は平年並みの出荷を見込む。
アル リス アト ロ メ	長野	周年	ピンクティアラ ハニーソフィア ホイトニー ピンクサプライズ	周年 (4月)	25 (101%)	1,130 (101%)	305 (101%)	30	30	35	上伊那 諏訪 松本	12月末にハウスの暖房設定を上げて年末需要への対応を行ったため、1月は大きな出荷の山はない見込み。

花きの県別生産出荷概況(1月見通し)

令和元年12月27日現在
出典：花き流通情報連絡協議会資料

品目		販売における現状と今後の見通し		
バラ	現状	国内産地は天候不順で生育にやや遅れが出ているが、中旬以降の日射量、温度の確保で、例年並みに戻りつつある。輸入は、昨年同様の入荷。赤系、白系STの動きが例年より活発(大田)。静岡・愛知などより入荷。出荷数量あまり上下なく安定した相場での販売も年末は上昇(FAJ)。入荷量横ばい。赤中心に引き合い強い(世田谷花き)。10月からの天候不順の影響で数量があまり纏まらず品薄感をもった入荷が続いていて、相場の乱高下は無くもちあいの販売となっている(東日本板橋花き)。国産は若干少ないが、輸入は安定した入荷。色は比較的安定(東京FP)。		
	見通し	大田花き	高冷地などの一部の産地が出荷休みに入り、高冷地は入荷減少。西南暖地は暖冬の影響で昨年より多めの入荷を見込む。輸入品は例年同様の入荷見込み。	
		FAJ	引き続き愛知・静岡などより入荷。成人式絡みの3連休でやや需要戻る見込み。	
		第一花き	12月需要期に合わせる以外に温度を焚いてない心配だが、入荷はありそう。他の品目同様に下旬は品薄が考えられる。	
		世田谷花き	気温次第だが、入荷量は横ばいから少なめの見込み。上位等級は引き合い強い見込み。	
		東日本板橋花き	低温も影響もあり大きな入荷増は無く、例年並みの入荷数量・販売展開となる見込み。	
		東京フラワーポート	気温の影響で高冷産地の入荷が減、輸入の割合が国産を上回る。	
アルストロメリア	現状	国産は数量横這いでの入荷。葬儀・専門店より安定した需要があり安定した価格で推移。年末も引き合い強い販売となった(大田)。長野・山形などより入荷。安定した相場での販売続く(FAJ)。そこまで増えず、強いまま推移。年末に向けて更に引き合い強まる(世田谷花き)。愛知・青森中心の入荷。昨年より少なめの入荷量(東日本板橋花き)。愛知産が増加傾向だが、昨年に比べ少なく価格高(東京FP)。		
	見通し	大田花き	数量は愛知・長野が増加し、例年より多い入荷量となる見込み。引き続き葬儀需要中心の販売となる。	
		FAJ	引き続き長野・山形中心の入荷。安定した相場での販売となる見込み。	
		第一花き	主力産地は愛知。潤沢な入荷に期待。	
		世田谷花き	引き合い落ち着くも、数量変わらず。品質向上。	
		東日本板橋花き	愛知・青森中心の入荷。昨年並みの入荷予定だが、天候次第で入荷の増減あり。	
		東京フラワーポート	愛知産潤沢、高冷産地も気温が高めのため、出荷継続で数量潤沢。	
ストック	現状	メインの山形は終盤に近いことと、寒さの影響を受けて数量減少。千葉は台風の影響で大幅に出荷量が少なく、供給量不足。販売面では通常期でも品薄感が出ており、年末の需要期でも不足感から価格が高騰(大田)。山形などより入荷。千葉もの少なく年末はひっ迫した状況に(FAJ)。高冷地物は前進傾向であり中旬以降激減。千葉は例年の5割程度の入荷(第一花き)。山形・福島などからの入荷。花芽分化が遅れ、出荷も遅れ気味。千葉県産は台風被害の為、例年の1/5以下の出荷(世田谷花き)。高冷産地終盤。千葉県産が天候からかなり少なく価格高騰(東京FP)。		
	見通し	大田花き	例年、山形から千葉に産地移行するが、千葉の供給が著しく少なくなる為、安定供給は出来ない状況となる。葬儀需要中心に活発な動きが見込まれる。	
		FAJ	さらに出荷数量減少の見込み。	
		第一花き	年明けも品物は少ないであろう。	
		世田谷花き	東北方面の出荷も終盤。千葉産は台風被害で入荷が非常に少ない。	
		東京フラワーポート	天候被害の影響で少ない見込み。常に高い価格帯となる。	